

提出日 2025 年 月 日

事務局記入欄	
受理 No	受付日 /

公益財団法人かながわ生き生き市民基金 第 4 回 JA 横浜子どもの未来支援助成 申請書

【申請団体基本情報】

団 体 名	フリガナ トクテイヒエイリカツドウハウジン〇〇〇〇		
	特定非営利活動法人〇〇〇〇		
代 表 者 (役 職 名 ・ 氏 名)	フリガナ ヤマダ タロウ		
	理事長 山田 太郎		
団体所在地	〒200-0000 横浜市〇〇区〇〇1-2-3 〇〇ビル 123 号室		
団体連絡先	TEL : 045-123-4567	E-mail : info@*****.org U R L : https://www.*****.org/	
担 当 者 連 絡 先 (上記代表、団体連絡先と異なる場合)	氏名	鈴木 一郎	役職、担当名 事務局長
	電話番号	同上	携帯電話 090-1234-5678
	FAX	同上	メールアドレス Suzuki@*****.org
会 員	正会員人数 10 人	賛助会員人数 20 人	
スタッフ	5 名 (内有給 0 名)	ボランティア登録者数	15 名
設 立 年 月	2022 年 4 月	活動地域	〇〇区
助成実績及び予定	・ これまでに、かながわ生き生き市民基金の助成をうけたことがありますか。 <input checked="" type="checkbox"/> (助成名称 第 2 回 JA 横浜子どもの未来支援助成) ない ・ 今年度、当財団以外に助成を受けたことがありますか。 (団体、助成名称)		
この募集を どこで知りましたか	メールマガジン		
連携している団体	連携している団体名をお書きください 〇〇区社協		
活動の広報について	活動の広報をどんな媒体で行っているか記入ください チラシ配架、SNS、紹介、口コミ		

※担当者連絡先は代表者欄、団体連絡先欄と同じ場合、記入しないで結構です。

添付書類チェック欄 (提出前にご確認ください)

添付書類 (必須)	チェック欄
i. 団体の規約など	✓
ii. 団体の運営体制がわかるもの (役員名簿、スタッフ名簿など)	✓
iii. 昨年度の事業報告及び収支計算書	✓

【1】申請する事業・活動

※この項目について、1 ページで収まるようご記入ください。Word 等で入力の場合 10.5 ポイントでご記入ください。

対象となる活動（□に☑）と 申請金額	<input type="checkbox"/> (1) 食支援コース 申請金額（ 円） <input checked="" type="checkbox"/> (2) 学習支援コース 申請金額（ 200,000 円）
申請する事業・活動の名称または企画名	無料学習塾、課外学習（農体験）の実施
(1) 課題認識 ※この事業を企画した理由 （設立の経過なども含め）	家庭の経済的事情などにより塾に通えない小中学生や、海外にルーツをもち十分な支援が受けられず様々なハンディを抱えている子どもたちに対して無料学習支援を行うことを目的に、2020 年に有志 5 名で団体を立ち上げた。2024 年 4 月に NPO 法人となり、現在では大学生や社会人、高齢者など 15 名のボランティア講師が、25 名の子どもたちへの学習支援活動を行っている。
(2) 趣旨・目的	経済的事情などにより塾に通えない小中学生、海外にルーツをもち十分な支援を受けられない子どもたちに対する無料学習支援を行う。 小学生には、主に学校の授業についていけるように基礎学習を中心にサポート。中学生は公立高校への進学めざした受験対策も行う。 この活動を通して、子どもたちだけでなく、その家族や地域の方々も巻き込みながら「たすけあいの文化」を広げていくことをめざす。
(3) 実施計画 ・主な対象者、人数 ・活動頻度 ・場所 ・参加費など ・何を・どのように・どうする ・事業の実施体制	【主な対象者、人数】 小学生 10 名 中学生 15 名 （うち外国にルーツのある子ども 5 名） 【活動頻度】 週 2 回 水曜日（小学生は午後、中学生は夕方から） 土曜日（中学生のみ午前中） 【場所】 ○○区社協会議室（水曜）、○○サポートセンター（土曜） 【参加費】 なし 【何を・どのように・どうする】 小学生は講師 1 人で 2 人を担当、中学生はマンツーマン 水曜のみ夕食を無料で提供（フードバンクからの寄付などを活用） 次年度は小学生 10 名を対象に課外学習（農体験）を計画したい 【事業体制】 寄付、会費収入と無償のスタッフとボランティアで運営している （大学生のボランティアのみ 1 回 500 円の交通費と払っている）
(4) この事業を通じて地域に どのような影響を与えることが出来るか	この活動を行うことによって、地域の課題となっている子どもの貧困問題や交流といった課題解決に向けた活動が期待できる。 また、この事業・活動が広がり定着することによって、地域全体で子育て支援を行うというような環境づくりに貢献できる。

【2】申請額及び経費予算

収支予算【今回申請事業の収支予算をご記入ください】（単位：円）

科目			予算額	説明 (内訳・算出根拠を詳しくご記入ください)
収入	自主財源	事業収入		
		会費	60,000	賛助会費 3000 円×20 人
		寄付金	40,000	スタッフ、社会人ボランティアなどから
		その他 (バザー収益等)		
	助成金・補助金等		200,000	〇〇事業団助成金、〇〇区社協
	J A横浜子どもの未来支援助成 の申請金額		200,000	
収入合計			①500,000	

(2) 経費予算 支出

科目			予算額	予算額の内 助成金をあ てる金額	詳細説明 (何にいくらかかるかの内訳全てをご記入ください)
支 出	助 成 対 象 経 費	会議費			
		旅費・交通費	250,000		大学生 5 名のみ 1 回 500 円×100 回
		通信運搬費			
		消耗品費	30,000		学習のコピー代など
		印刷製本費			
		賃借料（活動場所の維持費）	50,000	50,000	〇〇サポートセンター 1000 円×50 回 （〇〇社協は無料で使用できるため）
		物品購入費	100,000	100,000	食材費（水曜夕食 2000 円×50 回）
		広報費	20,000		チラシ（年間 1 万名程度）
		謝金等	30,000	30,000	農体験（受け入れ農家への謝礼）
		その他	20,000	20,000	農体験の交通費と昼食（子ども 10 名分）
		その他			
支出合計			②500,000	200,000	

※収入と支出の予算額は同額になります。①と②の金額は一致させてください。

※以下の書類を追加で求める場合があります。

- ・申請に物品購入を含む場合、見積書またはカタログ等の金額や内容が分かるもの
- ・申請に会議室、ホールまたは物品等を借りる際の費用を含んでいる場合は料金表等、金額が分かるもの

※その他、申請内容等を問合せする場合があります。